

図書館だより



No. 194

5月は図書館振興月間です

2015(平成27)年5月15日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp/>



◆ 展示のおしらせ ◆ 展示コーナー

「山への誘い」^{いざな} 5月8日(金)～6月3日(水)

新緑がさわやかな季節、山に関する写真集など山の魅力を伝える資料を展示します。

「会津盆地の弥生時代」

福島県文化財センター白河館まほろん収蔵資料移動展

6月5日(金)～7月1日(水)

発掘調査の成果から得られた知見をもとに、道具から見てくる生活の変化や、お墓の移り変わりに注目することで、会津盆地における弥生時代の展開や背景について紹介します。

◆ 関連講座 ◆

「会津盆地の弥生時代」

6月21日(日)

14:00～15:30

講師：福島県文化財センター白河館まほろん

専門学芸員 佐藤 啓氏

場所：福島県立美術館講義室

〈入場無料・申込不要〉

ぜひおでかけください



◆ イベント ◆

「春の朗読会」 出演：原國雄とその仲間たち

5月31日(日) 14:00～15:30 (13:30開場)

場所：福島県立図書館講堂 〈入場無料・申込不要〉

内容：「なつかしいひと」(宮下奈都) / 「高瀬舟」(森鷗外) / 「禍福」(藤沢周平) など(予定)

◆ 各種展示 ◆ 公開図書室にて展示

- ・「出かけてみよう！まだまだ知らない福島の魅力」(～7/1) 観光パンフレットも配布中
〈ふくしまの温泉めぐり ～6/3〉〈ふくしまのソウルフード 6/5～7/1〉【センターホール】
- ・「“図書館”に出会おう」(～7/1) 図書館に関する本、図書館が登場する小説等を展示【時事展示コーナー】
- ・「世の中の動きを知る」(～6/3) 「エコノミスト」等 経済関連雑誌を展示【調査相談カウンター付近】
- ・「おいしいものを食べて元気になろう！」(～7/1) 料理、レストラン特集の雑誌を展示【軽読書コーナー】
- ・「あめ・はれ・くもりなどお天気に関する絵本」を展示(6/5～7/1) 【こどものへや・絵本コーナー】

◆ ロビー展示 ◆ 軽読書コーナー横の通路にて展示

- ・5月8日(金)～6月3日(水) 手漉き和紙に魅せられて 和紙作成の工程の写真展
- ・6月5日(金)～7月1日(水) 水彩画展 水彩画・鉛筆デッサン・コラージュなどの作品展

新着案内

各分野の担当者が選んだおすすめの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『凡文を名文に変える技術』

植竹 伸太郎／著 文藝春秋 2015.3 816/㊦ 153/
メモや作文、日記や手紙等、私達は毎日さまざまな場面で文章を書きます。自分しか読むことのないものであれば書き方は自由ですが、人に考えや思いを伝えねばならないような時、どうすれば読みやすい文章が作れるのでしょうか。

本書では講座形式をとり、日本語を知るところから名文を書くコツまで順を追って解説しています。小説や随筆を例として取り上げることは多いのですが、「読ませる技術」はどんな文章であっても大事なポイントだと思います。「文章を磨き上げる秘訣」がしっかり詰まった一冊です。

『感染症の世界史 人類と病気の果てしない戦い』

石 弘之／著 洋泉社 2014.12 493.8/化 14Z/

エボラ出血熱やデング熱など、昨年度は突発的に流行した感染症の恐怖を身近に感じた年でした。多くの人は「医学の発達によって感染症はいずれ制圧されるはず」と信じてきましたが、著者は「地球に住むかぎり、感染症から完全に逃れるすべはない」と訴えます。地球環境史から見た感染症の歴史を紐解きながらエイズやインフルエンザ、ピロリ菌やヘルペスなど様々な感染症についてわかりやすく解説。さらに歴史上例のない人口の集中化と高齢化が進む中での、次なるパンデミックを予想します。

『47 都道府県・地名由来百科』 谷川 彰英／著 丸善出版 2015.1 291.0189/㊦ 151

普段の生活の中で何気なく目にしている地名。その由来を考えたことはありますか？日本には古い歴史と多様な地形に由来する地名が数多くあります。

本書では全国 47 都道府県名と各都道府県のユニークな地名・難読地名の由来がわかりやすく解説されています。福島県からは「会津」「安達太良山」といったなじみのある地名も紹介されており、著者が「日本地名列島」と評する地名の面白さを味わえます。

児童・児童図書研究

『やなせたかし おとうものがたり』

やなせ たかし/詩・画 フレール館 2014.9 J911.56/ヤ

『オウリィと呼ばれたころ 終戦をはさんだ自伝物語』 佐藤 さとる/著 理論社 2014.10 910/サ

「それいけ！アンパンマン」の作者 やなせたかし氏と、「だれも知らない小さな国」などコロボックルの物語で著名な佐藤さとる氏の若い頃を記した自伝が同時期に出版されました。

22 歳で戦死した弟への思いを詩に詠んだやなせ氏、エピソードをつなぎ合わせて自伝物語とした佐藤氏。その戦時期、終戦後の体験と心情は、それぞれの作品の根底に流れるものを教えてください。

雑誌・新聞

昭和 20 (1945) 年 8 月 15 日の戦争終結から、今年で 70 周年を迎えます。

既に各メディアが「戦後 70 年」をテーマに企画・連載などを行っています。当館におきましても資料展示を予定しています。今回は展示に先がけ、新着資料の中から関連した特集や記事の一部をご紹介します。

*戦後70年 歴史発掘 関露伝 (上・下)

山本 秀也／著

『世界』2015年3月号(上)・4月号(下) Z/051/S1/

*戦後70年 昭和秘史発掘 山本 武利／著

『新潮45』2015年4月号 Z/051/S31

*戦後70年 私の戦中戦後、私の原点 我が「まんが道」 藤子 不二雄(A)／著

『新潮45』2015年4月号 Z/051/S31

*シリーズ戦後七〇年 特集 アイドルが輝いていた頃 篠山 紀信 ほか／著

『中央公論』2015年5月号 Z/051/C1

*戦後70年永久保存版 大人の近現代史入門

『文芸春秋SPECIAL』2015年春号 Z/051/B2/2-

*特別企画「戦後70年」を問う

『潮』2015年2月号 Z/051/U1

地域

東日本大震災から4年が経ち、改めて多くの記録集がまとめられましたので、ご紹介します。

*『檜葉町災害記録誌 第1編 語り継ぐ震災、築く未来へ』檜葉町復興推進課／編 檜葉町 2014.12 LS369.31/N36/1-1

*『原発事故からの地域復興(Ⅱ) 檜葉町役場職員の証言記録調査 東日本大震災における地域調査研究 第2報』いわき明星大学現代社会学部 2014.2 LS543.4/I24/1-2

*『福島県広野町東日本大震災の記録Ⅰ「ふる里“幸せな帰町・復興”への道のり」』広野町東日本大震災の記録編集委員会／編 広野町 2015.3 LS369.31/H19/2

*『東日本大震災・いわき市復興のあゆみ 2014』いわき市行政経営部ふるさと発信課／企画・編集 いわき市 2015.3 LS369.31/I6/4-2014

*『はまどおりのきおく 1-3 東日本大震災の記憶』いわき明星大学復興事業センター震災アーカイブ室／企画 いわき地域復興センター 2015.3 LS369.31/I18/1-

*『東日本大震災・原発事故記録集』福島県行政書士会 東日本大震災・原発事故記録集編さんプロジェクトチーム／編 福島県行政書士会 2015.1 LS369.31/F22/1